**障害者の表現活動から考えるアートと福祉のまちづくり**

アートと福祉のまちづくり特別研究委員会

概要

「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」の施行（平成30 年6 月）などに見られるように従来は表現者としてメインストリームとは考えられてこなかった障害者などによる表現活動を社会がバックアップする傾向が顕著になってきている。そこで今回は大会会場の栃木県で長く障害者の表現活動とその支援に関わってきている梶原氏に登壇いただき、現状と課題について考えていきたい

日時　2023 年9 月30 日（土） 13:00 〜14:45

会場　宇都宮大学陽東キャンパス8 号館822 教室（第２会場）

プログラム

「もうひとつの美術館」やとちぎアートサポートセンターTAM で活動されている梶原氏を講師に、障害者の表現活動とその支援の現状と課題について考える。

「もうひとつの美術館」は栃木県那珂川町の廃校を利用して2001 年に開設された、日本で最初のアールブリュット、アウトサイダーアートをテーマに掲げる美術館である。「みんながアーティスト、すべてはアート」をコンセプトに、年齢・国籍・障がいの有無などを越えて、まち・地域・場所やジャンルをつなぎつくっていくアートのあり方を提案している。

とちぎアートサポートセンターTAM（タム）は芸術文化活動の始め方や支援の方法の課題、悩みをみんなで共有し、支え合い、社会へとつなげていく場所としてもうひとつの美術館内に開設されている。実際の活動から見えてきた現状を参加者と共有し、今後の課題について議論したい。

登壇者：梶原 良成 氏

　　　　（建築家、宇都宮大学共同教育学部美術分野教授、

　　　　 認定NPO 法人もうひとつの美術館理事）